

北海道地区

高校生のための心理学講座シリーズ

心理学と社会 ―こころの不思議を解き明かす―

2016年 **8月13日(土)** 10:30~16:30

北海道大学学術交流会館第1会議室

参加費無料・事前申込制
定員150名(先着順)

JR札幌駅北口より徒歩10分 <http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/campusmap/>
※筆記用具をご持参ください。上靴は必要ありません。昼食はキャンパス内にある大学生協の食堂を利用できます。購買部も営業しています。

◆ 企画・司会：邑本 俊亮（東北大学）

10:30-11:20 認知心理学	後藤 靖宏 (北星学園大学)	昨年公開されたディズニー映画「インサイド・ヘッド」。実はあの映画に認知心理学を考える大きなヒントが隠れています。「見る」も「聞く」も、「覚える」も「話す」も、「文を書く」も「運動する」も、あるいは「音楽を奏でる」も、私たちが普段当たり前にやっているありとあらゆる行動の背後では複雑な心理的処理が瞬時に行われています。この授業では、心理学実験を体験しながら人間の行動を科学的に分析してみましょう。脳の話も出てきます。授業後には「インサイド・ヘッド」がなぜ認知心理学なのかということが分かるようになるでしょう。
11:35-12:25 発達心理学	伊藤 崇 (北海道大学)	発達心理学の問いを簡潔にすると「ヒトの可能性はどのようにして引き出され、発展していくのか」と言えます。ヒトの可能性が最初に引き出されるのは生誕後まもない乳児期であり、それを引き出すのは乳児の周りにいる大人達や乳児を取りまく文化的なモノです。この授業では世界各地の乳児と子育ての文化に関する映像を見ながら、乳児期におけるヒトの可能性について考えてみたいと思います。
13:30-14:20 言語心理学	邑本 俊亮 (東北大学)	あなたは友だちの何気ない一言に傷ついたことはありませんか。何気ない一言でとても勇気づけられたことはありませんか。言葉はとても不思議です。同じ言葉でも話す相手や場面によって伝わる内容が違ったりします。私たちは言葉をどのように理解しているのでしょうか。この授業では、私たち人間が言葉を理解するときの心の働きについて解説し、コミュニケーションの「むずかしさ」と「素晴らしさ」を実感してもらいたいと思います。
14:35-15:25 教育心理学	浅村 亮彦 (北海学園大学)	最近、アクティブ・ラーニングや学んだ内容の日常への応用を考えるといった、授業の中で自らが積極的に関わる学びが注目されています。このような学びには、自分が何をどの程度理解し、どのようにして学習計画を立てるかといった、メタ認知能力の働きが必要です。この授業では、メタ認知能力が学びにどう影響するのか、メタ認知能力を鍛えるにはどうすればよいかを解説しながら、どのような学びが理解を深めることになるのかを考えたいと思います。
15:40-16:30 臨床心理学	風間 雅江 (北翔大学)	臨床心理学は、人間理解や対人援助についての理論と実践を統合して、人格的成長を促し不適応や苦悩などを解決するための心理学的援助の方法を科学的に探求し、専門的援助実践につなぐことを目指す学問です。心理学のどのような知識が対人援助の技法にどのように応用されているのか、具体的に例をあげてご紹介します。臨床心理学の知識を日常生活に活用して日々を生き生きとすごすための英知と工夫を、一緒に見出しいきましょう。

★ 参加申込方法 ★

▶ FAXでのお申込み 以下のFAX申込フォームにてお申し込みください（FAX番号 03-3814-3954）

▶ メールまたは往復はがきでのお申込み

「北海道地区参加希望」と明記の上、住所、氏名、年齢、所属(高校名・学年等)、電話番号をお知らせください。

※ 複数名でのお申込みの場合も、皆さま分の情報をお知らせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル 公益社団法人 日本心理学会 メールアドレス: jpa-highschool@psych.or.jp

※ お申込みいただいた順に受付番号をEメール、Fax、はがきにてお知らせしますので、住所、Fax番号、メールアドレスを必ずご記入ください。

※ 往復はがきでお申込みの方は、返信用はがきに住所をご記入ください。

※ 高校生、教職員の方向けの講座ですが、保護者の方、一般の方の参加も歓迎いたします。ご一緒にお申し込みください。

FAX 申込フォーム【北海道地区】

フリガナ		学校名	_____ 高等学校	
参加者氏名	(男・女)			
住 所	〒			
メールアドレス			年 齢	
Fax番号				
電話番号				

※ お知らせいただいた個人情報は、本事業の受付目的にのみ使用します。